

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 放課後デイふぁみりー

公表日 令和 8 年 5 月 20 日

利用児童数 14名 回収数 11名

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	4	6	1		・利用者の数が多いので、手狭な感じがします。 ・部屋がもう少し広いといいですね。 ・人数に対して少し狭いのかなと感じます。	高学年も多くなり、大きく成長した子どもたち。狭く感じる事業所内ですが、限られたスペースの中で、工夫して活動を行っています。お隣に座るお友達のことを気にできるようになる大切な空間だと思っています。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	10	1			・子どもたちに目が届く配置数だと思います。	
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	10			1	・目視で理解できるよう、絵カード等が使われており、とても配慮されていると思います。	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	10	1				
適切な 支援の 提供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	8	2	1		・個別にも対応して頂けているので、できることが増えているのを感じます。 ・親よりも熱心に特性を理解されているんじゃないかと思うと、きがあります。 ・理由があるのでしょうか、先生が利用者の方に対し、名前を呼び捨てにしているのが不思議に思います。	・ご意見に関してましては、個別にて説明させていただきました。親しみを込めて、愛称で呼ばせていただいているお子さんが数名います。その際には、保護者への同意をいただいています。
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	10	1			・完璧ではないでしょうか。	
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画(個別支援計画)が作成されていると思いますか。	10	1			・完璧ではないでしょうか。	
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	9	1		1	・1つのことで複数意見、アドバイス等をいただけるので視野も広がりありがたいです。 ・完璧ではないでしょうか。	・個別支援計画については、モニタリングの際にご説明させていただきます。
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	10	1			・完璧ではないでしょうか。	
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	10			1	・様々なイベントや外出もあり、とても工夫されていると思います。 ・活動内容のアイデアが素晴らしいです。	・室内遊び、屋外遊び、体操、学習などのカテゴリーからその日の活動を考えています。プログラムを考える職員も日替わりで設定し、固定化されないよう心がけています。
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	2	3		6		コロナウイルス流行後から外部の方との交流の機会が減っていますが、職員の子ども達が一緒に活動に参加してくれ、障害のない子どもたちと毎日のように交流しています。
	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	10	1			・分からない箇所を質問させていただいたのですが、とても丁寧に説明してくださいました。	
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	10	1				
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	3	4	3	1	・モニタリングの際に。	研修会などの実施は行っていません。他事業所様からの研修会の案内を情報提供として保護者の方に配布させていただきます。

保護者への説明等	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状態について共通理解ができていると思いますか。	10	1			・送迎の際にその日の様子を連絡しあって共有できていると思う。 ・お迎えの際に。		
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	9	2			・報連相がしっかりしており、複数の先生からの助言等もあり、共感していただけるので満足です。 ・モニタリングの際に。		
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	10			1		・家族以上に親身になって関わっていただいていると感謝しています。 ・ありがたすぎて泣けるほどです。	
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	1	2	2	5		現在父母の会等はありませんが、保護者の方々同士の交流の機会となるように、毎年卒業を祝う会を全保護者を招いて開催しています。	
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	6	1		3		・折り返しの電話もあり、アドバイス等もあるので、関わり方や対処もできるので助かっています。	ご相談等ある場合は、送迎職員に伝えていただくことや、事業所にご連絡いただくと、すぐに対応してまいります。体制については、重要事項説明書に記載させていただいていますので、ご一読ください。その他、分からない点はお申し付けください。
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	7	2		1			
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	8			2			ホームページに掲載後、園だよりやSNS等で掲載していることを発信しています。
非常時等の対応	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	9			1			
	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	9			1		・利用開始時に書面でいただきました。	
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	10						
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	9			1		・近所の公園などは良いですが、すみえや野口記念館など、少し離れた場所へ出かける際には事前に知らせておいてほしい。	・土曜日や長期休暇の活動では、いろんな場所へお出かけし、経験値を積んでいけるよう支援を行っています。保護者の方にご心配をおかけしないよう、ご要望があった際には事前連絡を行います。
満足度	26	事故等(怪我等を含む。)が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	8		1	1	・小さなことでも連絡をくれるのでとてもありがたいです。 ・事故やケガが発生したことがありません。	現在、大きな事故等につながったケースはありません。事業所内で怪我をしてしまったときには、状況の説明などを細やかに行うように心がけています。説明が不十分だった際には、いつでもお申し付けください。	
	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	9	1			・毎日でも行きたい気満々です。 ・間違いなく。		
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	10				・休みの日でもふぁみりー行く！ふぁみりーやってる？と聞いています。 ・毎日ふぁみりーと言っており、土曜日利用の時は楽しみすぎて早い時間に起き、準備も自ら進んでしています。 ・とても楽しみにしています。		
29	事業所の支援に満足していますか。	9	1			・とても満足しています。ありがとうございます。 ・いつも子供の様子を丁寧に話してくれて、先生方には感謝しております。 ・大満足です。いつもありがとうございます。			

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	放課後デイふあみりー		公表日		令和 8 年 5 月 20 日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・ 体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		高学年の児童が増え、狭く感じられる保護者もいるが、活動内容を工夫することで、支援を実施しています。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		利用人数だけではなく、利用児童の介助の程度に合わせて職員を多く配置するようにしています。	どの職員でも統一した支援が行えるよう、周知を行っています。今後は、支援した後の報告、考察までをサイクルにしていけるよう努めます。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○			
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○			
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		指導訓練室以外に、相談室や食堂など、児童のクールダウンの場所を確保できるよう配慮しています。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	○		毎月1回の職員会に加え、毎日周知の時間を設け、活動についてや利用者についてなど情報共有を行っています。	活動の職員間周知や、支援方法などについて細かく報連相を行い、さらなる業務改善に努めます。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○			
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		毎月1回の職員会議の際に、職員の意見等を聞く機会を設けています。内容に応じて早急に対応するようにしています。	職員同士で、もっと意見を出し合うことができるような環境づくりを行います。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	○			
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○			
適切な 支援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○			
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	○			
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		個別支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけではなく、責任者や児童指導員と一緒にケース会議を行っています。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○			
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○			
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		日替わりで担当職員が発案し、他の職員と一緒に活動内容を精査しています。	

支援の提供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		全職員で日替わりで活動内容を考案し、固定化しないようにしています。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	○			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		毎日活動前には職員周知の時間を設け、活動内容や支援方法の確認、児童の今日の様子などの情報共有を行ってから支援に付けるようにしています。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		送迎後、帰園する時間が異なるため、申し送りの徹底を図り、毎日周知の時間を設けることで情報共有や支援方法について話し合いを行っています。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○			
	23	定期的なモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○			
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	○			
関係機関や保護者との連携	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	○			
	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○			
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○			
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	○			
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	○		利用開始前に児童発達支援事業所へ訪問し、様子観察と引継ぎを行ってもらえるようにお願いしています。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	○			まだ、学校を卒業し障害福祉サービス事業所へ移行する児童がいないため行っていません。卒業後の進路への相談や移行する際の情報提供は適切に行っています。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	○			
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	○		職員の子どもたちが一緒に活動に参加してくれています。そのため、普段から障害のない子どもと活動する機会になっています。	
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	○			人員の確保ができた場合には必ず参加しています。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		毎日の送迎やお迎えの際に、今日の様子を伝えるようにしています。気になったことなどは小さい事でも保護者の方に伝えるように努めています。	
35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○			研修の情報提供については、他事業所での研修の案内を配布させていただいています。	
36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○				
37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○				

保護者への説明等	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	○				
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○				
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援をしているか。	○			現在父母の会等はありませんが、保護者同士の交流の場にもなるようにと毎年卒業を祝う会を全家庭の保護者を招いて開催しています。	
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○				
	42	定期的な通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	○				
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○				
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○				
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		○			以前は行っていましたが、コロナウイルスの影響で交流を制限していました。服薬をしている児童も多く、感染症には十分に気を付けながら今後再開していこうと思います。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○			各マニュアルについては、年に一度保護者へ配布し、お知らせしています。	
	47	業務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○			毎月1回避難訓練を行い、地震・津波の避難訓練に加え、水害等の避難訓練も実施しています。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	○				
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。		○			現在食物アレルギーのある児童の利用はありません。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○				
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○				
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○				
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○			虐待を防止するためにも、気になった支援を見かけた際には、声をかけるようにしている。	声をかけづらい場面もあるため、その都度職員同士で声をかけあえるような環境づくりを行います。
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。		○			現在、身体拘束が必要な児童の利用はありません。

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後デイふぁみりー		
○保護者評価実施期間	令和8年3月19日		～ 令和8年3月25日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	14名	(回答者数) 11名
○従業者評価実施期間	令和8年3月19日		～ 令和8年3月25日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8名	(回答者数) 8名
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年4月20日		

○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	毎日の活動をねらいをもって行っている。職員が毎日交代で活動内容を考案し、支援方法等を責任者と一緒に考え活動を実施している。	活動のねらいを大事にし、現状の子供たちに応じた活動内容になるよう工夫して考案していること。支援方法について、職員間で周知し、活動を行っていること。	活動中の支援方法について、支援についた職員でばらつきが出ないように、支援開始前に支援の仕方について確認を行い、支援後に報告するサイクルを作り、職員の資質向上に取り組んでいく。
2	地域イベントに積極的に参加していること。	子どもたちに様々な経験をしてほしいという思いから、地域のお祭りやイベントなどに積極的に参加するようにしている。保護者にお小遣いを持たせてもらい、自分で好きなものを選び、自分で買う、というお買い物学習も行っている。	初めは、慣れないことばかりで落ち着かない児童も居るが、お約束を覚えることや、経験値を積んでいくことで、お出かけを楽しむ時間ができる。そのため、今後もたくさんの経験を積む機会の提供していき、いろんな支援方法を試みながら、事業所でも家庭でもお出かけを楽しめるよう保護者とも情報共有を行っていく。
	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域交流ができていないこと。	以前は、敬老の日やクリスマス会などを地域のデイサービスへお邪魔させていただき交流する機会があったが、コロナウイルス感染症の影響で、交流に制限がかかり実施できなくなっていた。	感染症での規制は緩和されてきているが、交流相手が高齢者であること、当事業所にも服薬をしている児童がいるため、感染症には十分に配慮して、交流を再開していけるように働きかけていく。